



学校だより

平成29年12月22日

横浜市立高田中学校

1月号(第29-10号) TEL: 591-4183 校長 福田 之男

併設型小・中学校としての取組

校長 福田 之男

平成29年も残り9日となりました。今年の高田中の大きな変化は、4月より高田中学校、高田小学校、高田東小学校とともに横浜市教育委員会から「併設型小・中学校」に指定され、3校でその取組が始まったことです。この3校では、今までも小中一貫ブロックとしての活動を行ってきましたが、併設型小・中学校では、地域の特性や児童・生徒の実態に即し、授業時数や教育内容の配列などについて、学習指導要領の枠を柔軟に捉えて教育課程を編成し、学習、生活の両面で9年間一貫した緩やかで確実な教育活動を実現させることをめざしています。

今年度大きく変わったことは、昨年度までは高田中学校だけに設置されていた「学校運営協議会」が3校合同の「学校運営協議会」としてスタートしたことです。また、併設型小・中学校としての取組を進めていくための組織として、各校の校長、副校長、教務主任、研究主任の合計12人で構成される「12人会議」の回数を大幅に増やし、様々な事柄について議論、提案し取組を実施してきました。具体的には、合同授業研究会、合同教科主任会、90人会議（3校の職員が全員集まる会議）などの実施、高田中学校ブロックとして「9年間で育てる子ども像」に関して議論し、90人会議や学校運営協議会で提案しました。

今年度より、3校で教員1名の加配があり、当ブロックでは高田中学校にその教員を配置しました。それにより、昨年度まではなかなか実施できなかった小学校への乗り入れ授業を実施することができました。9月14日に高田小学校で実施された合同授業研究会では、本校の堤教諭と小林主幹教諭が、単元をとおして指導に関わり、当日の授業ではメインティーチャーとして小学校の学級担任の先生と授業を行いました。また、12月には高田東小学校の合唱フェスティバルに向けて、小林主幹教諭と音楽科



高田東小の朝会で児童に話をする小林主幹教諭



高田東小学校で学級新聞の取材を受ける小林主幹教諭と吉田教諭

の吉田教諭が複数回に渡り、高田東小学校を訪問し、合唱フェスティバルの取組に関して指導を行いました。中学校としては、このような取組をとおして、児童をより深く理解し、9年間を見とおした教育課程の編成に取り組む基礎としています。

現在次年度に向けて、①今年度の振り返りと今後の予定の確認、②「9年間で育てたい子ども像」について確認、各校で「9年間で身に付けさせたい力」について確認、③次年度の計画立案（各校の年間行事予定について共有）などについて議論を始めています。次年度も今年度の成果の上に、併設型小・中学校としての取組を行っていきます。

職業講話（1学年）

12月1日（金）、第1学年におけるキャリア教育（自分づくり教育）の一環として、職業講話を実施しました。職業講話は地域や関係機関にご協力をお願いし、実際に職業に従事している方を講師としてお招きし、仕事についての話をしてもらい、生徒が将来の生き方や職業選択へと目を向けることをねらいの一つとしています。今回お招きした講師の方々には、警察官、薬剤師、介護福祉士、消防士、お魚コーディネーター、建設業、出版業の皆様です。生徒は、7つのコースに分かれ、30分ずつ2コースを受講しました。生徒たちは講師の先生の話真剣に聞き、メモをとっていました。



ほとんどの生徒にとって、将来自分が就きたい職業はまだ漠然としている状況ですが、「仕事をするうえで大切なこと」や「ただお金を儲けるためだけに仕事をするのではないということ」などについて全員が何かを感じ取ることができた一日になりました。

<生徒の感想から>

- 身の回りにいる人たちが、大変な思いをして仕事をしているということを知ったり、共感したり、どんなことにでも知識が必要だということを知りました。
- 職業は大変だけど、どの仕事にもやりがいがあり、薬剤師では重要な使命があるからこそやりがいがあることを知りました。
- 仕事は人との関係が必ずあると思うので、その人の状態を知ることや、動物の

気持ちなどを知ることが大切で必要だと知りました。そして仕事は自分の好きなことや、やりたいことができたら一番いいと感じました。

特別音楽鑑賞会

1月24日（金）の午後1時45分より、本校体育館でベルリンフィルハーモニー交響楽団の演奏家が来校し、特別音楽鑑賞会が行われました。この音楽会は、高田小学校が企画し、本校が協力する形で実施されました。高田小学校の3年生から6年生、本校の1，2年生が参加しました。また、鑑賞を希望された小中学校の保護者の方も鑑賞しました。来校された演奏家は、フィリップ・モル（ピアノ）、リュディガー・リーバーマン（バイオリン）、クリストフ・イーゲルブリック（チェロ）、嶽道優子（ソプラノ）の各氏でした。約1時間のコンサートを楽しみました。モルさんからは、鑑賞態度がとてもよかったとお褒めの言葉をいただきました。

音楽会の感想 1年3組 橋本 伊吹さん

私はプロの演奏家を目指して毎日練習を重ねています。今回の超一流の演奏家による生演奏を身近なところで聴く機会に恵まれ、私は本当にうれしく思いました。世界で一、二位を争うオーケストラのメンバーが高田中に来ることだけでもすごいことです。間近で本格的なプログラムを演奏してもらい、私たちは贅沢な時間をもらったと思います。フィリップ・モルさん他のトッププロの透明感のある美しい音色とぴったりと息の合ったアンサンブルには鳥肌が立ちました。また、アンサンブルだけではなくチェロのソロ、ヴァイオリンのソロも聴けたのでより楽しむことができました。

忙しいスケジュールの中でも、どんな会場でも聴衆のために全力で仕事をする姿勢にとっても感動しました。私もこれから更に技術的なところに気を配り、将来ベルリンフィルの仲間に入れるように頑張りたいと思えた一日でした。



生徒朝会

高田中学校では、生徒会主催による生徒朝会が毎月行われています。12月18日(月)のプログラムは、①校歌斉唱、②委員会からの連絡(・3年学級委員会より ・2年学級委員会より ・1年学級委員会より ・美化委員会より) ③本部より(・生徒会本部企画について ・服装の決まりの確認)というものでした。各学年の学級委員会からは、2学期の振り返りについての話がありました。

3年学級委員会 学級委員長 3年1組 佐々川 歩樹さん

2学期は緑学年にとって最後の高田祭がありました。合唱の部では、どのクラスも最高の合唱を創ることができました。文化の部では3年生を中心にとっても盛り上がり、楽しむことができました。生活面では、課題にしていた「チャイム着席」をできるようにするために各クラスの学級委員や班長を中心に声かけを行い、だんだんとチャイムが鳴る前に座ることができるようになってきました。今後これを続けたいです。最後に3年生のみなさん、いよいよ自分自身の進路に向けて本格的に動きだします。大変だったり、辛いことも出でくると思いますが、時間を大切に頑張りましょう。

2年学級委員会 学級委員長 2年1組 大西 慎之助さん

2学期を振り返ると、青学年全体で特に良かったことは合唱コンクールです。どのクラスも金賞を目指して一生懸命練習し、クラスの団結が深まりました。さらに秋、冬テストでは来年受験だということを意識して取り組めた人もいます。ただ、まだ改善していけることもあります。例えば、教室内で暴れたり、授業の集中が足りないなどです。後期に入って部活動や委員会活動で2年生が中心という立場になり、まとめることの大変さを感じた人もいます。学年目標の「Input and Output」の「Output」の部分をさらに意識して3学期を過ごしましょう。

1年学級委員会 学級委員長 1年1組 廣瀬 晶太さん

今の赤学年は自然教室に向けて係ごとに活動を行ったり、班では新聞を作ったりしています。また自然教室実行委員会では、自然教室保護者説明会、学年集会で発表予定の自然教室のスローガンの作成を行っています。2学期は初めての高田祭がありました。1年生にとって初めての合唱コンクールで緊張したと思いますが、本番ではみんなの心が一つになるような合唱ができたので良かったと思います。高田祭では赤学年全員が楽しく取り組めていたので良かったと思います。今後は自然教室もあるので、授業からしっかりと行っていい生活態度を継続していきましょう。